

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40

TEL 049-289-2527

<http://www.takei-makoto.org/>

E-mail takei@sakado-gr.org

13号

- ◆石川新市長への期待と不安
- ◆6月議会報告 武井 誠 の一般質問
- ◆市長への制度政策要望と回答
- ◆今日まで、そして明日から 夏の日程
- ◆無料法律相談・市民生活相談案内など

石川新市長への期待と不安

武井誠は、みなさまの熱いご支援で、再び議会へとお送りいただきました。おかげさまで心身ともにきわめて健康。元気に活動しています。

市長選挙で初当選を果たした石川市長は、飾らない人柄、フットワーク軽くすぐ動く姿勢が支持者を増やしましたが、公約、選挙演説が言葉足らずで、市の未来像がよく見えないという声もありました。施政方針演説を受けて私を含む多くの議員が、石川市長の真意を問う質問を行いました。

原稿なしで、直感的に答弁する市長。私の質問に対して「脱原発をめざす首長会議」への加入を即、表明したことは高く評価できます。議員時代に政府や電力会社を厳しく批判した見解に変わりはないか、という質問には「ますます、その気持ちが強くなった」と答弁。利権構造に浸かっている首長には、できない答弁です。クリーンな市長だと思いました。

しかし、ほかのところでは、市長の公約が、あまり練られたものではなかったことが次々と明らかになりました。他議員の質問への「旧せせらぎ荘の入浴施設の復活はできない。考えが甘かったと反省している。」「公用車の廃止はしない。市長の仕事がこんなに忙しいとは思わなかった。」といった答弁には、あ然とさせられました。正直と言えば正直ですが、これでは有権者をだましたことになってしまいます。(私の一般質問への答弁については、2ページで報告します。) 武井誠は、これからも、是々非々で、石川市政と向き合っています。



5月29日、社民党坂戸総支部を代表して、石川市長に制度政策要望書を提出しました。内容については3ページをご覧ください。

無料法律・市民生活相談会

社民党市民相談センター

お気軽にご利用ください。お礼不要・プライバシーは厳守いたします。

原則として、1人30分の予約制。緊急の場合には弁護士さんあてに紹介状を書きますので、弁護士事務所で無料法律相談を受けることができます。

(ご予約・お問い合わせは 武井携帯 090-9854-5175まで)

次回相談日は2012年8月4日13時から市民生活相談、15時から法律相談、会場は北坂戸駅東口前の「オルモ」です。

6月議会 武井 誠の一般質問

①本市の財政状況と市長・職員の給料カット ②教育委員会のあり方と教育長人事 ③震災と放射能対策を中心とする防災・安全対策の見直し 以上3つの大項目について一般質問をしました。それぞれについて報告します。

給料カットは財政上の理由

まず、職員の意識が低いからそういうレベルの給料にするという考えなのか、それとも財政が危機的であるからなのかを質問しました。職員の意欲と人事・給与システムとの関係は、検討に値するテーマかもしれないが、それと今回の給料カットとは別の問題であると考えての質問でしたが、答弁は「財政上の理由による」というものでした。ならば、市長記者会見の「職員のレベルが上がれば日本一高い給料でもよい」というのは、軽率な発言であるといわざるを得ないでしょう。

財政危機は「体質」の問題

次に、坂戸市の財政が危機である根拠を質問したところ、歳入と歳出をあわせる取り組みを行わない財政運営モラルの低下、「体質」の問題であるとの答弁でした。「坂戸市は異常、潰れないのが不思議」「数字をごまかしている」といった議員時代の発言の根拠が、数字で示されることはありませんでした。

恣意的な10%給料カットは暴挙と言わざるを得ません。職員の生活権の問題です。他市町村、民間賃金、景気に与える影響も深刻であると考えます。

別の議員の質問には、「身の丈」に合った予算は220億円程度との答弁。今年度より40億円圧縮し、40億円を貯め、なおかつ教育にはお金をかけ、福祉は充実させる。どうすれば可能なのか、説明を求めています。

教育委員会制度の確認

市長の「教育にお金をかける」という方針に賛成しつつ、戦前の中央集権的な軍国主義教育への反省のもとに生まれた教育委員会制度についての認識と、教育長が未だ決まらないことの見解を問いました。

教育の専門性、継続性、安定性、中立性確保のために教育委員会があること、また、教育長の重大な職責について答弁がありました。早期に教育委員会で任命できるように議会に提案したいとのことでしたが、教育委員の提案は、未だになく、教育長は不在のままです。

防災、放射能対策は継続

首都圏で4年以内にマグニチュード7クラスの地震が起こる確率は70%。この現実と、一方における政府の危機意識の欠如、利権、腐敗の構造を指摘し、本市の防災・放射能対策について質問しました。

地域防災計画の見直しなどと共に、放射能対策について従来の取り組みを継続すること、予定をやや早めて夏ごろをめどに、環境学館いずみに、食品の放射線量無料測定所を設けることなどが答弁されました。

また、東京電力への損害賠償請求についての質問に対しては、特別交付税措置を超える部分について請求していく方針が明らかにされ、議会閉会後の6月22日、247万円の請求がなされました。

「アスベスト被害救済の意見書」全会一致で可決

このたび、環境都市常任委員会委員長になりました。事実上の初仕事は、この意見書を出す請願をめぐる議論でした。

議会改革の一つとして始まった「議員間討議」も活用されながら審議、全会一致で請願を採択、委員長の提案による議員提出議案として、本会議も全会一致で可決することができました。

妥当な結論だと思いますが、同じ内容の請願が、県内某市では賛成する議員が2人で否決されたそうです。

この4年間、議会改革が進む中で、坂戸市議会には「誰が言っているかではなく、何を言っているかで議論し、判断する」作風が生まれてきているように感じます。

歓迎すべきことです。

社民党坂戸総支部

石川清市長に制度政策要求

5月29日、総支部代表として、私の公約と、市民みなさんからお寄せいただいた要望に基づき39項目の制度政策要求書を市長に提出しました。なんと市長は次々に即答、さすがにその後の混乱が予想されたので、後日の文書による回答を求め、6月21日付で回答書を受け取りました。口頭による確認を含め、前進したところ、心配なところを報告します。

学童保育指定管理者制度について

回答書では、引き続き市指定管理者制度の活用を図るとの回答でしたが「どのような方法が最善か当該管理者と真摯に話し合う」ことを口頭で確認しました。

保育園「隠れ待機児童」もゼロを目指す

現在、待機児童は0ですが「保育環境を整えば子どもを預けて働きたい」と考えている母親らの潜在的ニーズにも配慮し、いわゆる「隠れ待機児童」の解消にも努力することを確認しました。

万全の放射能対策をおこなう

一般質問に対する答弁のとおりです。

教職員の事務量を減らし超過勤務解消を

教員の事務作業を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するために、現場に手厚い人員配置を行うことを確認しました。

市民福祉に貢献する市民活動への補助金カットの見直し

個々の内容を審査のうえ予算額を決定していくとの回答でしたが、財政健全化を理由とした、以前よりも厳しいカットが行われようとしている気配があり、心配されるところです。情報をお寄せください。

市民の平和への取り組みを支援すること

市の取り組みが書かれているだけで要望と回答がかみあっていませんでした。たとえば被ばくアオギリの説明版設置、ヒロシマ市民の描いた原爆絵画展などへの支援を求め、協力していくとの回答を得ました。

国保税は高いと感じている

推移を見守るとの回答でしたが、率直な見解を求めたところ「国保税は高いという感想は持っている」とのことでした。ならばどうするのか、具体的な検討を求めています。

火葬場問題の早期解決

広域静苑組合への早期加入に向けて協議を進めていくとの回答。市長公約の『目玉』の一つです。期待したいと思います。

地域包括支援センターについて

今年度3か所になったが、介護保険事業計画には4つの生活圈域にそれぞれ1か所の設置が位置づけられている。充実を図っていき、との回答。

建設組合健保への補助は継続

継続を口頭で確認しました。

瓦礫受け入れの問題について

本市の焼却施設は焼却能力の面で余力がない状況にあるため、災害廃棄物の受け入れについては十分な調査・検討を行う、との回答。

その他の主な要望

- ・公共交通のあり方。・人権教育の推進。
- ・高齢者支援のネットワークづくり。
- ・公契約条例の制定。・障害者福祉の推進。
- ・生活道路、合併浄化槽などの整備。
- ・通学路の安全確保、信号機の設置。
- ・学校給食への地場産野菜使用の促進。
- ・公園、遊歩道の整備。
- ・樹木を安易に伐採しないこと。
- ・防災対策の推進。・子育て支援。 など

7月1日人事異動 副市長に小塚満氏

6月議会中に、坂戸市副市長の選任についての議案が提案され、市議会は小塚満氏の選任を全会一致で同意しました。

小塚氏は、元市役所職員。09年3月まで

総務部長。退職後は坂戸ガス株式会社顧問。

7月1日には、小塚氏を含む人事異動があり、環境部長、健康増進部長、市民生活部長などのポストにも異動がありました。

今日までそして明日から ～夏の日程～

議員以外の仕事も含めた武井誠の夏の日程をまとめてお知らせします。どこかの場面で、市民みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。お気軽に声をおかけください。

- 6-24 川越・沖縄連帯集会・パレード
- 6-27 公契約条例講演会準備会
- 6-28 入間川改修同盟総会
- 6-30 無料法律相談・市民生活相談会



- 7-30 環境都市常任委委員会県外視察研修 31日まで(静岡、神奈川方面)
- 8-01 消防組合議員県外視察研修 02日まで(宮城県名取市)
- 8-04 無料法律相談・市民生活相談会 オルモ
- 8-08 連合埼玉川越・西入間地協幹事会
- 8-10 原爆絵画展実行委員会

8-17 ふくしまの子どもたちと遊ぶ会 子どもたち受け入れ(23日まで)

深谷の国済寺のご住職を中心に、有志で企画しました。NPOを通じて福島県の子どもたち10人を受け入れ、比企丘陵で思い切り遊んでもらう企画です。

- 8-18 坂戸よさこい(19日まで)
- 8-20 老社会納涼大会 城山荘
- 8-21 議会運営委員会(予定)
- 8-23 社民党全国自治研 横浜(24日まで)

8.24. 11~19時、8.25. 9時30分~18時 ヒロシマ市民の描いた原爆絵画展 坂戸市文化施設オルモ 25日 14時~特別企画 平和紙芝居・平和の歌など

- 8-24 「教育を語る会」懇親会
- 8-26 ラジオ体操「お楽しみ会」北大塚公園
- 8-28 市議会9月定例会開会(予定)

ホームページを毎日更新しています。「武井誠」と入力し、**検索**をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも、発信しています。

- 7-01 学童保育運動会 「狭山事件」現地調査
- 7-02 「狭山事件」東京高裁前街頭宣伝 坂戸・鶴ヶ島地区原爆絵画展実行委員会
- 7-04 坂戸地区消防団意見交換会
- 7-05 社民党宣伝カーで市内を遊説
- 7-07 「このまちで安心して老いる会」定例会
- 7-08 武井誠市政報告会 文化会館ふれあ
- 7-09 都市計画審議会委員辞令交付 自治体議員学習会、懇談会
- 7-10 決算常任委員協議会(事業評価について)
- 7-11 消防組合議会 議会改革推進委員会
- 7-13 越辺川・高麗川改修期成同盟総会 「教育を語る会」定例会
- 7-15 被ばくピアノコンサート 丸木美術館

7-16

さようなら原発10万人集会

12:30~ 代々木公園

- 7-21 夏休みラジオ体操 6:30 北大塚公園 公契約条例学習会 13:30 浦和 埼玉教職員組合入間支部大会 17:00 飯能
- 7-27 環境審議会第1回会合
- 7-28 劇「釈迦内棺歌」 川越やまぶき会館 入西花みず木夏祭り
- 7-29 石上神社と道路の草刈 「脱原発」集会 日比谷野外音楽堂



放射能から子どもたちを守る会・入間北

放射能にかかわる、月1回の、交流、情報・意見交換の会を行っています。放射能にかかわる、学習会、映画会、講演会などを主催、後援しています。必要が生じた時は、行政に働きかける取り組みをしています。多くのみなさまの入会をお待ちしております。

<http://www.sakado-gr.org/mamoru-kai/> (会の名前で検索できます。)